

聖霊降臨節第10週 主日礼拝

2019年8月11日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(新潟平和夕拝に合流)

前奏	(The Lord's Prayer)		
招きのみことば	『ピリピ人への手紙』1章21-30節(抜粋)	司会者	
※開会の賛美	新聖歌7「主のみいと」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌337「愛する主よ わが君よ」	—	同
聖書朗読	『使徒の働き』11章19-26節(新約251頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「キリストのみ」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌433「天つ真清水」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	猪爪和美姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-4)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教：近伸之牧師	音響：有志 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：近伸之牧師 会：横堀信子姉 (渡邊智子姉)	映像・音響：有志 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：近伸之牧師 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

- 多数派であるユダヤ人クリスチャンたちは、同じユダヤ人にしか福音を語らない、固定観念に囚われていた。それを打破したのが、キプロスやクレネの改宗者出身の信者たちだった。
- アンテオケは「ないものはない」大都会。あらゆる快楽が詰め込まれ、人々が飲み込まれていく坩堝(るつぼ)の中で、アンテオケ教会の信者たちは、キリストを語らずにはいらなかった。
- それまではユダヤ教の一派と見られていた教会は、アンテオケで初めて「キリスト者」と呼ばれるようになった。それは彼らの思考や生活が「キリストのみ」に依存していたから。

今週の暗唱聖句

「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。
それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です」
(『エペソ人への手紙』2章8節)

個人、団体からの来信

2019年8月11日

村上福音キリスト教会より領収書／「新潟朝禱会通信」第194号／
新潟のぞみルーテル教会より、
ハンゲル特別クラスのご案内[9月14日]およびバザーのお知らせ[9月29日(日)11～14時]

先週の集会出席者数

8/4(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計- 成人男性1 幼児女子- 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児計1 成人女性1		
	第一礼拝	男3 女3	※月に一回書道教室を開催	
	聖餐礼拝(子ども)	男13 女16 男児2 女児5	8/5(月) 月曜家庭集会	男1 女2
	夕拝	男2 女1	8/7(水) ネヘミヤ祈禱会	男4 女4
			8/9(金) シャベリ場夕ピタ	(休会)
			8/9(金) 金曜祈禱会	男1 女1

諸集会のご案内

	※月に一回書道教室を開催(8月は休会)		
月曜家庭集会	(休会)		
新潟山形僚禱会	8/14(水)午後7:30	[祈りのネットワーク]を使います。	司会：片山 勝三兄
シャベリ場夕ピタ	8/16(金)午後1:30	渡邊智子姉宅にて	問合せ：長谷川睦子姉
金曜祈禱会	8/16(金)夜	教会堂	

8/18(日) 聖霊降臨節第11週			
第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：佐藤 繁実兄		
第二礼拝 午前10:30	司会：(調整中) 集会：渡邊 智子姉 (小林 洋子姉)	映像・音響：(調整中) 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：片山 勝三兄 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	8/4[片山姉] 8/11[近牧師] 8/18[佐藤兄] 8/25[片山姉] 9/1[近牧師]		
掃除当番順	8/4[有志] 8/11[猪爪姉] 8/18[片山姉] 8/25[小林姉] 9/1[]		
主日の予定	カナン訪問 午後2:00～		司会進行：長谷川睦子姉
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教		

報告

- 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばを心に刻みつけ新たな日々を歩みましょう。本日午後7時より新潟福音教会において、新潟平和夕拝が持たれます。当教会の夕拝も合流としますので、奮って参加しましょう。
- 旅行中の方、体調不良の方を覚えて祈りましょう。
旅行などで本日欠席している方々のスケジュールが守られますように。また酷暑の日々が続き体調を崩している方々がおられます。ひとり一人の歩みが守られますように。
- 先週の来会者
8月4日(日)聖餐礼拝に、田中麻衣姉、田中美南さん、田中晴琉くんが出席されました。感謝します。
-

「いやなヤツ」、少年の頃、鏡に映る自分の顔を指差してはよく言ったものです。私はいろんな面で劣等感のかたまりみたいところがありましたから、どうしても自分のことが好きになれないという時期がありました。いわゆる自己嫌悪というものなのでしょう。

そのように自分のことが好きでない人は、どうも人のこともあまり好きになれないようです。“自分だって自分のことをいやなヤツと思ってるんだから、きっと相手もそう思ってるに違いない、”とったり、“どうせ、あいつだって、おれと同じようにいやなヤツに違いない、と勝手に決めこんだりしてしまうので、どうしても相手に心を開いていこうとしないわけです。人間関係の悪循環だなと思えます。

新約聖書の『ローマ人への手紙』の中に、「互いに愛しあうことについて」大切なことは、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」(13章8～10節)という言葉の中に要約されていると教えられています。

つまり、隣人を愛するという前提は、“自分を愛すると同じように、だ”というのです。ですから自分を愛することをしない人は、隣人を愛することもしない人になるのではないのでしょうか。私が人のことがなかなか好きになれないのは、自分のことを愛せないからだったわけです。

ところが、生けるまことの神さまを知り、イエスさまの愛を信じてからそれはまったく変わりました。私は神によって造られたかけがえない価値ある存在なのだと、その存在には、私でなければならぬ固有の意味と目的とがあるのだと知ったことは、私にとって大きなことでした。そして自分のことを価値ある存在として、ありのままの自分を受け入れることができるようになった時、他の人をも大事な存在として受け入れることができるようになっていく自分に気がついたのです。

しかしそれに加えて更にすばらしいことは、「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」(旧約聖書『イザヤ書』43章4節)として、自分でも自分をいやなヤツと思うほどのこんな者を、み子を十字架につけてまで救ってくださるほどに、神さまは愛してくださっているのだと知ったことです。そのことによって、私のような者ですら、こんなに愛してくださっているように、あの人をもこの人をも、主は同じように愛していらっしゃるのだとわかってきたのです。そうしたら、みんないい人のように見えてきたのが不思議です。

主の愛は、私のひんまがった人生観、人間観を根本的に変えてくださったのです。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15～5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



8/17(土)「平和への思い」荒木寛二さん

埼玉県ふじみ野市にあるキリスト教会の牧師・荒木寛二さん(77歳)は、広島県出身で、3歳の時に原爆の被曝体験をしました。爆心地から約1.5キロのところにある自宅にいた荒木さんの全身には、無数のガラスの破片が刺さっていたといいます。戦後、19歳でクリスチャンとなり、その後、牧師となった荒木さんは、神の愛を語り続ける中で、平和への思いが年々、強くなっていったといいます。そんな荒木さんの体験談と平和への思いを伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。



夜空を仰いで、神様がお造りになった月や星を眺めると、なぜ、ちっぽけで取るに足りない人間を、神様が相手にし、目をかけてくださるのか、わからなくなります。

(詩篇8:3-4、リビングバイブル訳)

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

